

# 読谷村まちづくり構想策定支援事業基本計画、実施計画策定委託業務

## 報告書概要版

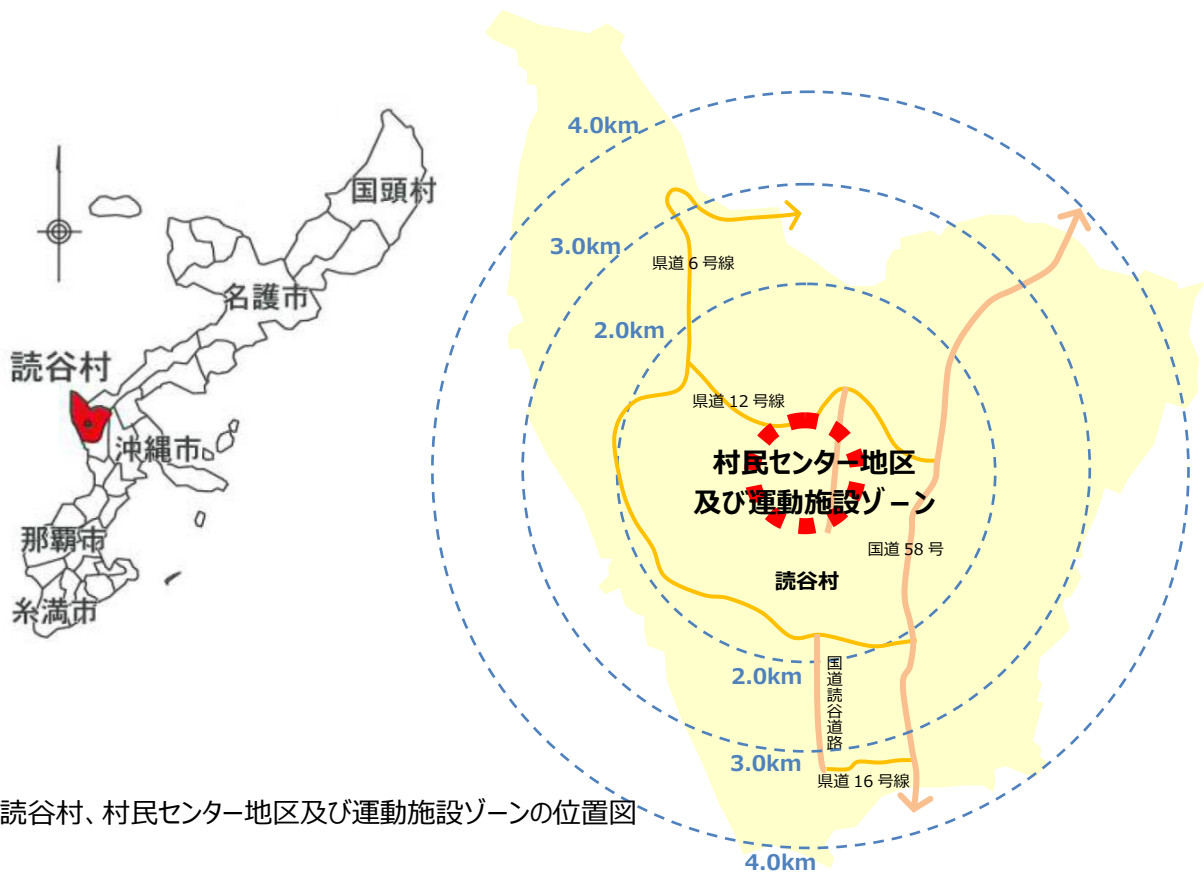
令和4年3月 沖縄県読谷村

### 1. 計画の目的と位置及び計画対象施設

#### (1) 計画の目的

読谷補助飛行場の返還と跡地利用は、重要な歴史的経緯と意義を有しています。読谷補助飛行場は本村の中心部にあり、その跡地利用に位置づけられる村民センター地区は、文字通りむらづくりの中心地となり、軍用地返還以前から計画的にその整備が進められてきました。

本計画はこれらの状況を踏まえ、まちづくり支援事業（※防衛省補助事業）を活用し嘉手納弾薬庫、トリー通信施設をはじめとする地域資源を効果的に連携・交流することができる施設の整備を通じて、在沖米軍・軍属を含む多くの村民が積極的に交流し相互理解を深めるとともに地域の賑わいや活力を創出し、防衛施設と周辺住民との調和を推進することを目的とします。



読谷村、村民センター地区及び運動施設ゾーンの位置図

## (2) 計画地の位置

計画地は、村民センター地区の北半分を占める運動施設ゾーンです。

運動施設ゾーン内には現在、以下のスポーツ・レクリエーション施設のほか、読谷村総合福祉センターや中央駐車場が整備されています。また、同ゾーン北部に残る戦時中の掩体壕は、村指定文化財となっています。

- 読谷村運動広場
- 読谷村多目的広場
- 読谷平和の森球場
- 読谷村陸上競技場
- 読谷村体育センター
- 読谷村テニスコート
- 読谷村トレーニング室
- ゆんたんざソフトボール場



読谷村運動広場



読谷村多目的広場



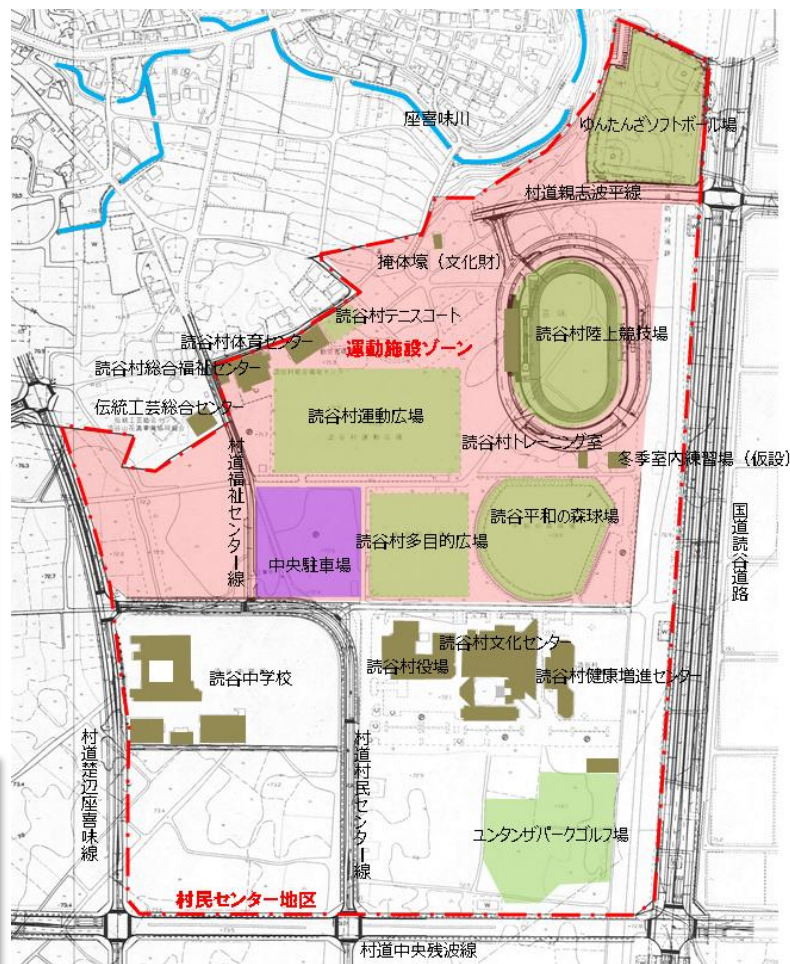
読谷平和の森球場



読谷村陸上競技場



ゆんたんざソフトボール場



運動施設ゾーンの現況図

## (3) 計画対象施設

本計画における検討対象は、以下の施設とします。

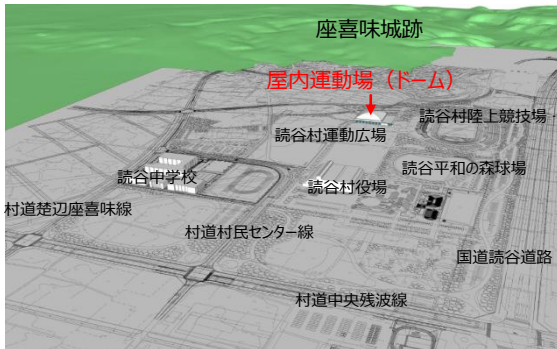
- 屋内運動場（ドーム）
- 多目的広場
- テニスコート
- 陸上競技場周辺

## 2. 配置計画の方針

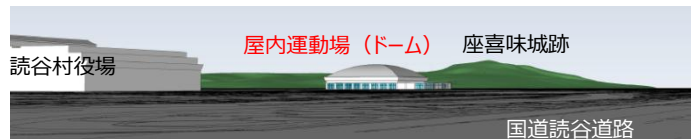
### (1) 屋内運動場（ドーム）の配置方針

屋内運動場（ドーム）の配置については、読谷村役場の南側の村道中央残波線沿道から座喜味城跡への景観を阻害しないこと、また、座喜味城跡から見る眺望も阻害しないことを景観シミュレーションで検討した結果、読谷村陸上競技場の西側かつ読谷村運動広場の北側に配置する方針を設定しました。

この位置に屋内運動場（ドーム）を配置すると、読谷村陸上競技場や読谷平和の森球場と一体的な利用が可能であり、スポーツコンベンション誘致拠点として利用しやすい、という利点があります。



屋内運動場（ドーム）の配置位置



国道読谷道路と村道中央残波線の交差点付近からの見え方



村道村民センター線と村道中央残波線の交差点付近からの見え方



上記の交差点より北側へ役場付近まで進んだ地点からの見え方

### (2) 各施設の導入及び配置方針

各施設の導入内容や配置については、現状及び関係者ヒアリングの結果などから、以下のような方針を設定しました。

施設名称	導入内容の概要	配置方針
屋内運動場（ドーム）	野球の室内練習が可能な広さ、フットサルコート2面分のスペース、ゲートボール4面分のスペースをアリーナで確保、読谷村トレーニング室の機能を移転	読谷村陸上競技場の西側かつ読谷村運動広場の北側に配置
多目的広場	サッカーやラグビー場として利用できる120m×70mの人工芝グラウンドを確保、屋根付きベンチ及び倉庫を設置	現状の読谷村多目的広場を、一部拡張して改良
テニスコート	テニスコート8面を確保、屋根付きベンチ及びトイレを設置	読谷中学校の北側に配置
陸上競技場周辺	—	現状の仮設のブルペンを残し、読谷村トレーニング室を冬季室内練習場として活用、現状の室内フリー打撃の機能は屋内運動場（ドーム）へ移転
駐車場	—	屋内運動場（ドーム）周辺に北口駐車場、テニスコート周辺に西口駐車場を整備し、現状の中央駐車場と合わせて合計約1,000台を確保

### 3. 全体配置計画



運動施設ゾーン全体配置計画図

## 4. 屋内運動場(ドーム)計画

### (1) 屋内運動場(ドーム)の計画方針

雨天時の室内野球練習場、フットサル、ゲートボールやレクリエーション施設、スポーツイベントの開会式など、多様な用途の使用ができる人工芝を敷設した屋内運動場(ドーム)の計画方針を設定しました。

#### ● 建物の建築面積と最高高さ

建物の建築面積は、野球練習場やフットサル等様々な使用目的を想定し、4,860 m<sup>2</sup> (81m×60m) とします。野球の室内練習が行える天井高さを確保するため、建物の最高高さは宜野湾市屋内運動場と同程度の 22.4m とします。

#### ● アリーナの大きさ

アリーナのサイズは、56m×56m とします。この場合、アリーナ周辺のウォーキングスペースを除いた活動スペースは 50m×50m となりますが、これは県内ドームの平均的なサイズです。

#### ● ロッカー室・シャワー室

ロッカー室・シャワー室は、建物のエントランスから近い場所に配置します。

#### ● トレーニングルーム

現状の読谷村トレーニング室 (300 m<sup>2</sup>) が手狭になっているため、約 340 m<sup>2</sup> を確保します。

#### ● 研修室

研修や会議のほか、アリーナ利用時の控え室等多目的に活用できるようにし、エントランスやアリーナから近い場所に配置します。

#### ● 器具庫・倉庫

器具庫・倉庫は、利用しやすいようにアリーナやトレーニングルームに面する位置に配置します。

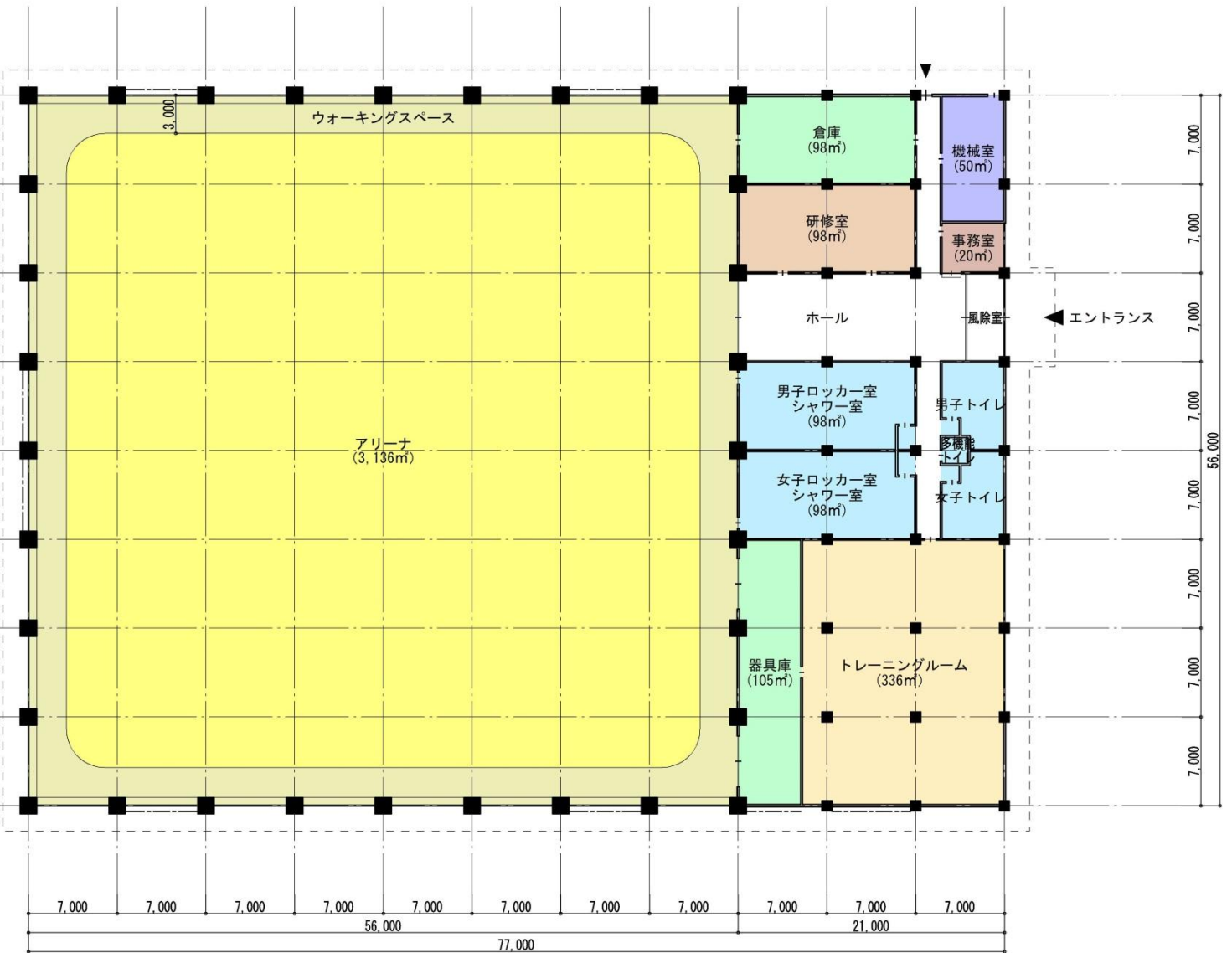
#### ● ウォーキングスペース

ウォーキングスペースを、アリーナ周辺を活用して設置します。(一周 200m)

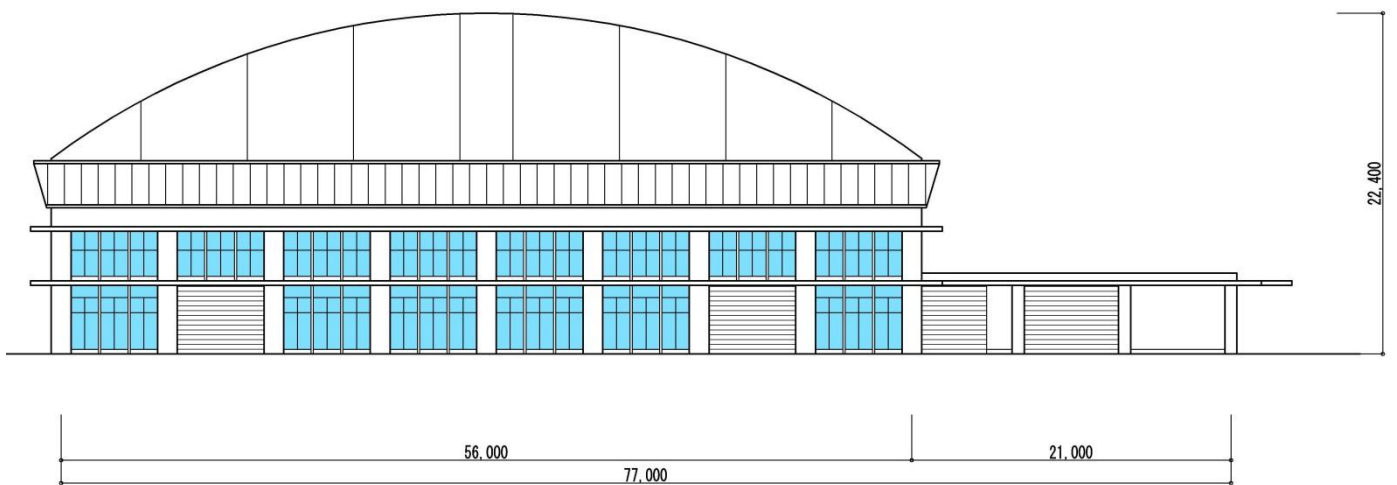
屋内運動場(ドーム)延床面積表

室名	面積 (m <sup>2</sup> )
アリーナ (ウォーキングスペースを含む)	3,136
トレーニングルーム	336
研修室	98
ロッカー室・シャワー室・トイレ (男・女)	196
トイレ (男・女・多機能)	70
事務室	20
器具庫	105
倉庫	98
機械室	50
ホール・風除室・廊下	203
合計	4,312

(2) 屋内運動場（ドーム）の平面図及び立面図



屋内運動場（ドーム）平面図

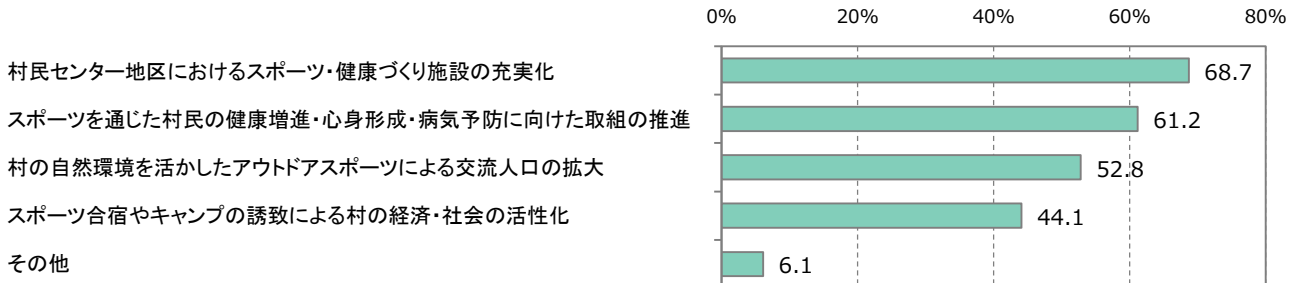


屋内運動場（ドーム）立面図

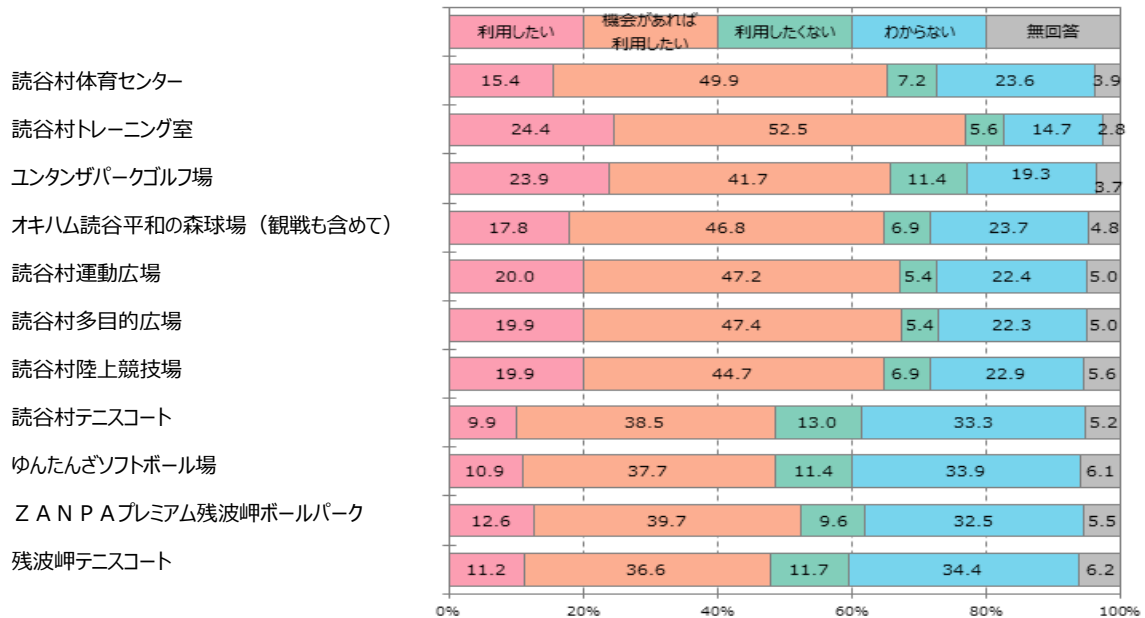
## 5. 村民アンケート調査の概要

計画について村民の方々のご意見をお聞きするため、読谷村公式LINEを活用したアンケート調査を実施し、令和4年2月18日から3月8日までの間に、975件のご回答をいただきました。結果の一部は以下の通りです。

### ● これからのスポーツ・健康まちづくりへの取組の希望について



### ● 村内スポーツ施設の今後の利用意向について



**読谷村まちづくり構想策定支援事業基本計画、  
実施計画策定委託業務 報告書概要版**  
令和4年3月

発行：沖縄県読谷村

〒904-0392 沖縄県読谷村字座喜味 2901 番地

電話：098-982-9200（代表）

ホームページ：<https://www.vill.yomitan.okinawa.jp/>

制作編集：読谷村教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興係

編集協力：株式会社オオバ